

令和4年度教育・保育活動に係る保護者による園評価について

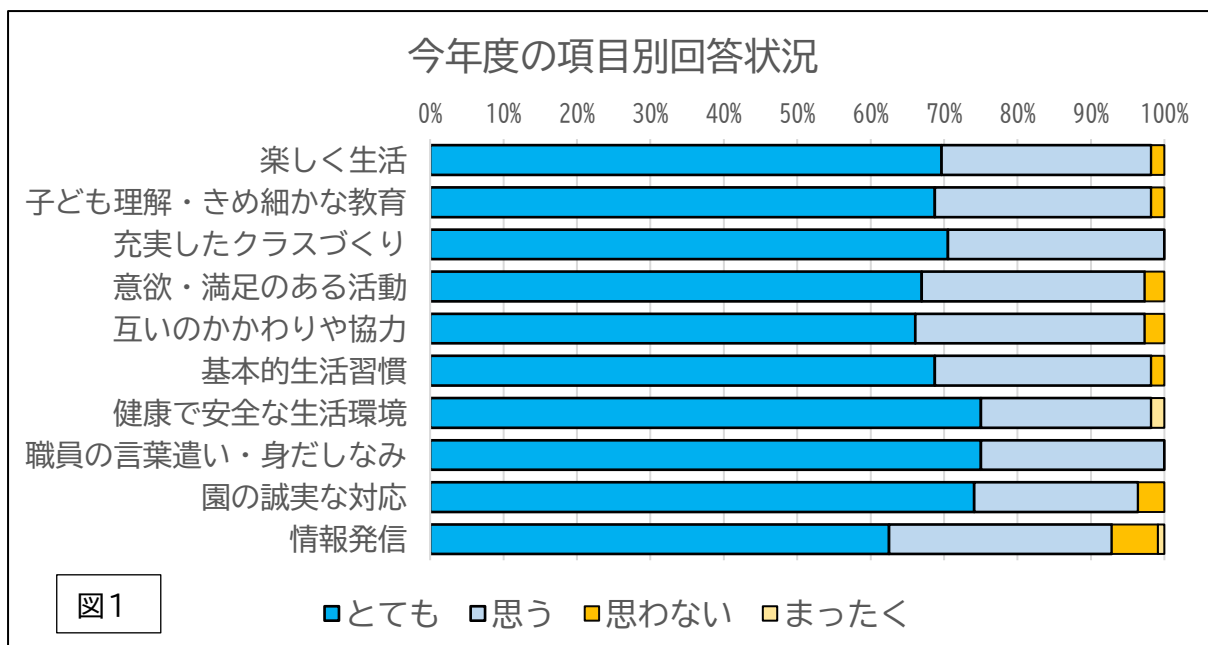
○実施日	令和4年12月13日（火）～19日（月）
○実施対象者	当園保護者136家庭
○評価方法	アンケートによる調査
○回答率	84.2%（112名）

1 項目別の評価平均と昨年度との比較

評価の曖昧さを解消するため、令和元年に、それまで5段階評定（「とても思う」「思う」「どちらでもない」「思わない」「まったく思わない」）だったものを4段階評定に改めました。4段階評定となって4年目を迎えた今年度の項目別の評価平均は以下のとおりです。

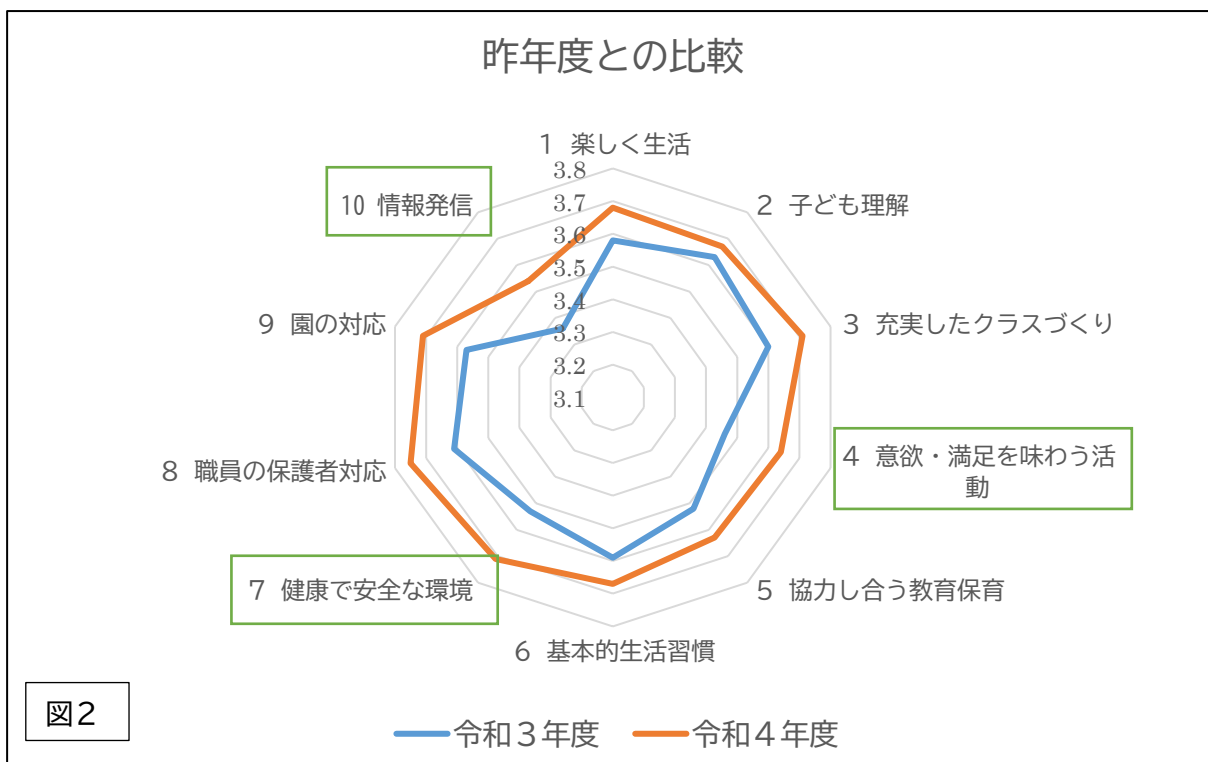
	項 目				評価の平均 4点満点
	(評定) 4 とても思う	3 思う	2 思わない	1 まったく思わない	
1	お子さんは、幼稚園に楽しく通っていると思いますか。				3.68
2	担任は、子ども一人一人を理解するように努め、きめ細かな教育・保育を行っていると思いますか。				3.67
3	教職員はいろいろなふれ合いや保育活動の中で、子どもとの信頼関係を築き、充実したクラスづくりに努めていると思いますか。				3.71
4	日常の教育・保育、様々な活動や体験、諸行事を通して、子どもは意欲的に活動し、満足感を味わうことができる教育・保育を行っていると思いますか。				3.64
5	幼稚園は、子どもたちが遊びなどを通して互いに関わり合いを持ち、協力し合える教育・保育を行っていると思いますか。				3.63
6	挨拶や人の話をよく聞くこと、集団としてのルールなど、身に付けてほしい基本的な生活習慣を培うよう努めていると思いますか。				3.67
7	幼稚園は、楽しい雰囲気の中で、子どもが健康で安全な生活が送れるよう環境づくりに努めていると思いますか。				3.71
8	教職員は、言葉遣いや身だしなみに気をつけて子どもや保護者の皆様に対応していると思いますか。				3.75
9	幼稚園は、子どものことについての保護者からの相談ごとなどに対し、誠実に対応していると思いますか。				3.71
10	お便りポスト、園便り、ホームページなどで、園の活動や子どもたちの様子について情報発信がされていると思いますか。				3.54
総合評価					3.67

この結果、4段階評定にして以来すべての項目において評価平均が初めて4点満点中3.5以上となるとともに、図1にあるように、「とても思う」「思う」の割合も昨年同様すべての項目において90%を超え、保護者が肯定的に園を評価していることがわかりました。



次に、図2にあるように今年度はすべての項目で昨年度の評価を上回っています。

特筆すべきは「4 意欲・満足を味わえる活動」「7 健康で安全な環境」「10 情報発信」の評価の伸び率が大きくなったことです。



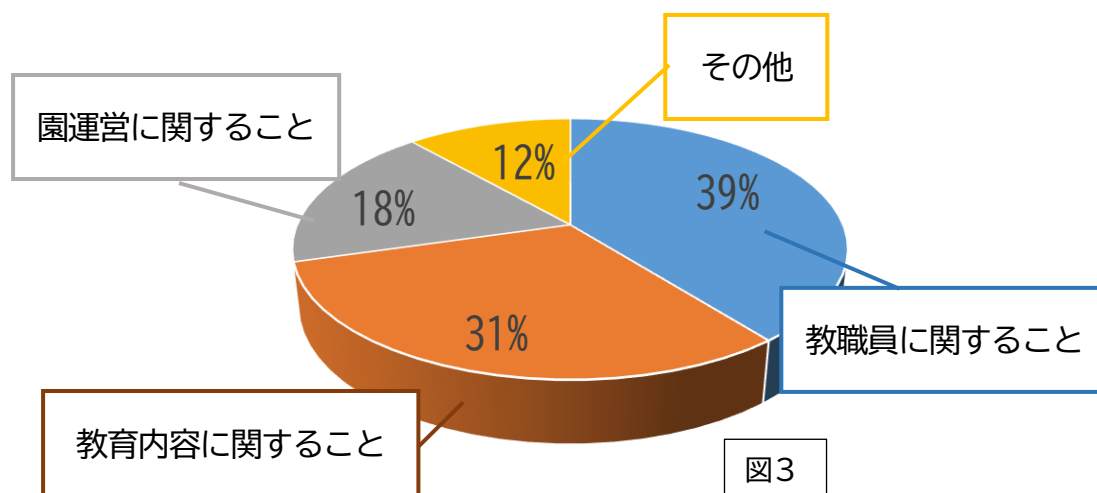
「4 意欲・満足を味わえる活動」が評価された要因として、コロナ禍の中でも創意工夫をしながら取り組んできたことが認められたのではないかと考えています。

「7 健康で安全な環境」では、コロナ対策の徹底、交通安全教室や避難訓練の実施、バス置き去り防止訓練などが評価されたものと思われます。

「10 情報発信」については、週に2回の「クラスニュースきらきら」や園だより「ひまわり」の発行、ホームページによる写真の掲載、そして今年度から開始したインスタグラムなどが評価されたものと思われます。

2 記述項目「11 当園の良さや魅力」について

この度の園評価では、当園の良さや魅力について保護者がどのように受け止めているかも調査しました。回答のあった保護者の記述内容を整理すると「教職員に関すること」が最も多く、以下図3のようになりました。



(1) 「教職員に関すること」記述内容

先生方の雰囲気や心遣いがとても素晴らしいと思う。子どもの数が少ないわけではないのに一人一人をしっかりと見ていてくれて、安心して子どもを通わせてもらっている。コロナ禍の中でもできるだけ行事を開催していただき、行事のたびに子どもの成長を見させてもらっている。(年中の保護者)

【他の記述内容のキーワード】

- 親切 ○元気 ○挨拶 ○信頼 ○丁寧 ○笑顔 ○活気 ○優しい ○心遣い
- 安心感 ○明るい ○雰囲気 ○声かけ ○おおらか ○はつらつ
- 子どもに楽しく接する ○子どもを大切にする ○子どもの変化に気づく
- 子どもとの関わり方 ○話しかけやすい(相談など) ○保護者への細かな配慮
- 一人一人を大切(向き合う) ○卒園児への対応 ○担任以外の保護者対応

(2) 「教育内容に関すること」記述内容

様々な体験を通して子どもたちの可能性を引き出そうとしているところ。子どもの個々を尊重して、各子どもが表現できているところ。また、集団での生活を大切にしているところ。園長を含め、先生たちが楽しく子どもに接していること。
(年長の保護者)

【他の記述内容のキーワード】

- いろいろな体験・経験 ○伸び伸び活動 ○異学年交流の機会（合同保育など）
- 可能性を引き出す教育 ○集団生活を重視 ○遊びを通して学習（ルール）
- 多様な教育活動 ○保育内容の充実 ○必要な力が身につく ○オープン活動
- 生き物を育てる ○バス置き去り防止 ○避難訓練 ○交通安全教室

(3)「園運営に関すること」記述内容

常に子どもや親にとって何が一番良いのか、例年通りの行事でもその都度改善したり新しい試みなど（習い事とか）積極的にしたりしてくれるところ。（年中保護者）

コロナが流行する中でも、行事やイベントに最善の策を練って取り組んでくれているところだと思う。（年長保護者）

【他の記述内容のキーワード】

- 最善を尽くす ○職員の複数配置 ○課外教室の開設 ○常に改善を加える
- 職員間の情報共有 ○保育環境 ○新しい試み ○積極的な運営 ○定期的な面談
- 保護者参観による園理解

(4)「その他」記述内容

園での子ども様子をホームページの写真やお便りなどで、こと細かく伝えてくれるところ。避難訓練を日頃から行ってくれるところ。（年中保護者）

【他の記述内容のキーワード】

- 家庭への細かな報告 ○コロナ対策 ○在籍園児の多さ（出会い）
- 互いに刺激しあう園児 ○情報発信（HP・お便り） ○様子を伝える工夫

3 今後の課題

幼児教育の質の向上にあります。私たち教職員は今まで以上に研修を積み重ね、教職員一人一人の資質や教育力の向上に努めるとともに、幼児教育の目的を達成するため一致団結して「ひまわりの子」の育成に取り組めます。

この度の園評価を通じて保護者から「園独自の行事やイベントがないので、考えてほしい」という声がありました。しかし、私たちが今やるべきことは、新しい行事を増やしたり行事を中心とした幼児教育に取り組んだりすることではなく、行事を含めた様々な場面や機会を捉えて（通して）「主体的に考え判断し、表現できる力」の基礎を育成することにあります。行事はそのための一つの手段・方法にすぎません。「活動あって学びなし」の行事にしないためにも、今ある行事を学び（成長）の多い行事に変えることこそ重要だと考えます。

私たちの真の目的は質の高い幼児教育にあります。質の高い幼児教育は、専門性、人間性、意欲を有した保育教諭から生まれます。次年度は、今の活動を工夫・改善しつつ、子どもたちの成長につながる、学びの多い活動を目指してまいります。